

賢明女子学院リヴィエ会会報



あらむね

Vol. 58

2019.3.1 発行

Shining Stars

「あらむね」の由来

「あらむね(ALUMNAE)」とは、女子同窓生という意味で、ラテン語が語源の英語“ALUMNA”の複数形です。シスター・フェクトが命名、元教頭 堀先生が題字を揮毫してくださいました。

挨拶



賢明ファミリーの皆様へ

会長 永井 綾子 (旧姓: 大野) (24回生)

賢明ファミリーの皆様、いよいよ平成最後のあらむねをお手元にお届けすることになりました。何をするにつけても『平成最後』という言葉が付き、慌ただしい日々を実感する今日この頃ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

66回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは賢明という大きな愛の中で大切に育てられた素晴らしい原石です。お一人おひとりがこれから歩まれる道でOnly Oneの輝きを持つ宝石になれますように。皆さんを賢明ファミリーとしてお迎えできるのはこの上もない喜びです。同窓生には、世界中で活躍するたくさんの先輩たちがいます。もしかしたら皆さんも将来、いろいろなところで会われるかもしれません。

さて本誌が皆さまのお手元に届くころは平成最後の春を迎えておりますが、昭和生まれの私は三つもの時代をまたがって生きていくことになります。平成を迎えた日を鮮明に覚えているのに、また新しい時代を経験できることは感慨深くもあり楽しみでもあります。皆さまもきっと様々な想いを胸に、新しい時代を迎えられることと存じます。

私達の母校も同じく新しい時代に歳を重ねていくことになりますが、すでにその近い未来に向かって様々なプロジェクトが動き始めています。母校を訪れるたびに新しい風を感じるが多くなりました。昨年の本誌でご案内させて頂きましたように母校賢明が良き伝統を守りつつ、さらなる発展を続けるためにも同窓会はこれからも協力していく所存でございます。皆さまのお力添えを引き続き宜しくお願いいたします。

卒業以来母校には行ったことがないという声を多くの方々からお聞きいたします。学院祭やクリスマス行事など様々な機会に母校に足をお運び頂き、これからの賢明女子学院を見守っていただければと心より願っております。



リヴィエ会員の皆さまへ

理事長 シスター 山本 千恵

春の訪れに華やぐこの季節には、各地からリヴィエ会員の方がたの近況を運んでくれる「あらむね誌」の発行が待たれます。そして新たに賢明女子学院66回生105名の入会の喜びも増し加わります。このように年毎に豊かな実りに恵まれる賢明家族の幸せに感謝を深めるばかりです。

昨年は「あらむね57号」を通して「リヴィエ・プロジェクト協賛募金」のお願いをいたしましたところ、早速多くの方がたから心温まるご寄付を頂きました。有難うございます。

お一人お一人に心から御礼申しあげます。

おかげ様で2018年度に始まりました「リヴィエ・プロジェクト」は、生徒たちの学習面と環境整備の両面からの新しい企画・実行が着々と進んでおります。皆さまがたから頂きますご理解・ご支援が何にもまして心強い支えとなり、当プロジェクト推進の励まし・躍進力となっております。なにとぞ新年度にも続けて一層のご支援を賜りますよう改めてお願い申しあげます。

今年は、賢明の創立者、福者マリー・リヴィエの生誕後250年に当たります。創立者は、その心を受け継ぐ賢明家族を絶えず天から見守りながら、リヴィエ会員の皆さまに希望と喜びのエールを送っておられるに違いありません。どうぞ皆さま今年もお元気で、お一人お一人に授かっておられます多様な暮らしの中であって心と魂に愛を灯し続け、お幸せな日々をお迎えください。心一つにお祈り申しあげております。



制服改定へのご報告

校長 松浦 明生

卒業生の皆様には常日頃から学院の教育事業にご協力を頂きましてありがとうございます。

学院では昨年度より準備を進めてきたリヴィエ・プロジェクトが今年度からスタートし、校舎の改築をはじめ中学におけるコース制導入やクロススタディなど様々な改革が始まりました。そして、同時にそれらの改革を目に見える形で内外にアピールする狙いも込めて制服を改定することとし、教職員と生徒双方の制服検討委員会を発足させて、リヴィエ会の幹事の方々のご意見も伺いながら、1年余りにわたって改定作業を続けてまいりました。このたび細部に及ぶ検討がすべて終了し、4月から学年進行で新制服を導入する運びになりましたので、「あらむね」の紙面をお借りしてご報告いたします。

制服を変更するにあたって留意した点は、賢明の伝統を踏襲しながらも新しい時代を予感させる制服にすることでした。大きく変わるのは冬服と合服です（4頁の写真をご覧ください）。冬服のジャケットは、高校生は賢明の伝統色ともいえる紺色からグレーを基調としたものになり、中央部には紺のラインを入れました。中学生は逆に従来の紺色のジャケットにグレーのラインを入れ、中学・高校でデザインは同じで配色の異なる制服となりました。スカートは襞の数を少なくし、重たい印象を与えていた旧型と比べすっきりとしたものになりました。合服はセパレート形式からワンピース型とし、夏服は生徒の評判も良いので見た目にはほとんど変更は加えませんでした。付属品を合わせたその他の部分についても、素材や形に若干の変更はありますが、おおむね従来通りとなっています。

慣れ親しんだ制服が消えゆくことは卒業生の皆様にとって寂しいことではあろうかと推察いたしますが、伝統を踏まえつつも新しい賢明を創り上げるという趣旨をご理解の上、温かく見守っていただければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

66回生を送り出すにあたって

高3(66回生)学年主任 釧持 僚子

66回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。同窓会の皆様、今年度も新しく会員となります卒業生のために、式の準備などに際してお心遣いをいただきましてありがとうございます。

学年目標「誇れる自分になる」ために、自分に与えられた才能は何か、使命は何か、ひたむきに自分探しを続けてきました。時に自分を持て余し、投げやりになり、失敗もたくさんありました。それでも、聖母マリアのご保護のもと、そして多くの方々との出会いとお導きによって、66回生は今日まで元気に歩むことができました。

「神のなさることは、すべて時にかなって美しい。」

悩み苦しんだことも、迷い立ちつくしたことも、すべて、神様は、次の一步を踏み出す力に変えてくださいました。これからは、その力を世の中で発揮し、平和の担い手となっていくことでしょう。

卒業生一人ひとりが神様からいただいた命を輝かせ、まわりの人々を幸せにしながら、それぞれの人生を歩んでいきますように、お祈りいたします。

卒業生のことば

水野結起子 (66回生)

長いようであつという間であつた6年間の賢明生活は本当に笑顔の絶えない充実した日々でした。本校での宗教の授業やDeARプロジェクトを通じて他者を思いやる心や善く生きるとはどういうことかを考える力を養え、視野が広がり発見が増えました。また、部活動を通じて頼りになる先輩に憧れ、切磋琢磨しあつて勝つ喜びも負けた悔しさも同期と分かち合い、慕ってくれる後輩にどこか誇らしさと気恥ずかしさも覚えつつスポーツマンシップを学び人格を磨くことができました。賢明生活を実りある有意義なものにして下さった先生方、日々を共に過ごした友人、勉学を支えてくださった家族に感謝しています。先生方から学んだこと、かけがえのない友人との思い出は一生の宝物です。

そして私たち66回生は信頼される立派な女性になるために本校で培ったThe Bestの精神を胸に新たな道を進んでいきます。それぞれが置かれた場所で自分らしい花を咲かせることができますように。



2017年度 進学状況

国公立大学

大学名	学部名	現役	既卒	合計
北海道	総合入試理系	1	1	
茨城	農	1	1	
大阪	外国語	1	1	
大阪教育	教育	1	1	
神戸	医	1	2	
	文	1		
鳥取	医	1	2	
	工	1		
岡山	工	1	2	
	法	1		
愛媛	農	1	1	
琉球	教育	1	2	
	人文社会	1		
首都大学東京	人文社会	1	1	
長岡造形	造形	1	1	
福井県立	海洋生物資源	1	1	
都留文科	文	1	1	
福知山公立	地域経営	1	1	
大阪市立	商	1	1	
大阪府立	工学域	1	1	
兵庫県立	環境人間	1	3	
	看護	1		
	経営	1		
公立鳥取環境	環境	1	1	
尾道市立	経済情報	1	1	
県立広島	保健福祉	1	1	
山口県立	看護栄養	1	1	
防衛医科大学校	看護(自衛官候補コース)	1	1	
水産大学校	生物生産	1	1	
合計		27	29	

私立大学

大学名	学部名	現役	既卒	合計
上智	総合人間科	1	3	
	法	1		
	理工	1		
昭和	歯	2	2	
清泉女子	文	1	1	
多摩美術	美術		2	
東海	海洋	1	1	
東京音楽	音楽		1	
東京歯科	歯	1	1	
東京農業	生物生産	1	2	
	農	1		
日本	経済	1	2	
	生産工	1		
武蔵野美術	造形		1	
早稲田	社会科	1	1	
名古屋外国語	外国語	1	1	
京都医療科学	医療科	1	1	
京都産業	総合生命科	1	1	
京都薬科	薬	1	1	
同志社	経済	3	12	
	商	2		
	スポーツ健康	1		
	政策	4		
	法	1		
	理工	1		
同志社女子	学芸		1	
	生活科	1		
	表象文化	2		
佛教	教育	2	2	
立命館	経営	1	8	

大学名	学部名	現役	既卒	合計
立命館	産業社会	1		
	生命科	1	1	
	文	2		
	法	1	1	
龍谷	国際	4	5	
	政策	1		
大阪音楽	音楽	1	1	
大阪芸術	芸術	4	4	
大阪工業	工	1	3	
	ロボティクス	2		
大阪産業	経済		1	
	工	3		
大阪歯科	歯	1	1	
大阪体育	教育	1	1	
大阪薬科	薬	1	1	
関西	外国語	3	11	
	環境都市工	2		
	商	2		
	文	1		
	法	3		
関西外国語	英語国際	3	5	
	外国語	2		
近畿	経営	3	13	
	建築	1		
	工	1		
	国際	2		
	生物理工	2		
	農	2		
	文芸	1		
	理工	1		

大学名	学部名	現役	既卒	合計
四天王寺	教育	1	1	
梅花女子	文化表現		1	
関西福祉	看護	3	3	
関西学院	教育	1	23	
	経済	3		
	国際	1		
	社会	4		
	商	4		
	総合政策	2		
	文	5		
	法	1		
	理工	2		
甲南	経営	1	13	
	経済	1	1	
	知能情報	2		
	ロボティクス	2		
	文	2		
	マネジメント	2		
	理工	2		
甲南女子	看護リハビリテーション	5	7	
	文	2		
神戸医療福祉	社会福祉	1	1	
神戸学院女子学院	現代人間	4	1	
神戸学院	栄養	8	15	
	心理	2		
	総合リハビリテーション	4		
	薬	1		
神戸芸術工科大学	芸術工	1	1	
神戸松蔭女子学院	人間科	12	18	
	文	6		

大学名	学部名	現役	既卒	合計
神戸女学院	文	4	4	
神戸女子	家政	11	31	
	看護	2		
	健康福祉	7		
	文	11		
神戸親和女子	発達教育	7	7	
神戸常盤	保健科	1	1	
神戸薬科	薬	4	4	
姫路獨協	医療保健	1	4	
	看護	3		
武庫川女子	看護	3	14	
	生活環境	3		
	文	5		
	薬	2	1	
岡山理科	工	1	4	
	獣医		1	
	理	1	1	
川崎医療福祉	医療技術	2	3	
	医療福祉	1		
倉敷芸術科学	生命科	2	1	
徳島文理	人間生活	1	2	
	保健福祉	1		
立命館アジア太平洋	アジア太平洋	1	1	
合計		247	1526	

2018年春の進学状況

進路係主任 柳内 賢

2018年春に学院を巣立った65回生は116名で、ここ数年の卒業生数と比べると、20名余り少なくなりました。したがって、私立大学のべ合格者数は、例年よりも少なくなりました。進学状況は、約91%が現役で進学し、その大半は大学・大学校へ進学しました。専門学校や海外の学校へ進学した生徒はいませんでした。国公立大学の現役合格者数が27名と、ここ数年で最も多くなったのが特徴です。国公立大学志望者が多く、難関大をはじめ、幅広く受験したことによると思われます。

進学する学部では、文系は文学・外国語学部系統が多く、理系は医療保健系統が多いのは例年通りですが、その割合はそれぞれ減少しました。主な進学先として、5名以上が進学した大学は、同志社大・関西学院大・関西大・神戸学院大・神戸女子大・武庫川女子大です。

2019年度 中学入試状況

中学入試

入試日程	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学予定者数
A日程	115	105	104	76	73
B日程	30	41	39	29	17
C日程		14	12	6	5
計	145	160	155	111	95

※入学予定者数の内訳は、ソフィアJr.コース29名、ルミエールJr.コース66名です。

※入学予定者数は1月25日現在。最終的な入学者は2月16日に確定します。

入試状況

入試係 守田 悠紀

2019年度は、中学でもコース別での募集を開始して2度目の入試となりました。高校のコース制が軌道に乗りはじめ、早い段階からそれにつなげることを目標に、ソフィアJr.(特進)とルミエールJr.(進学)の2つのコースを設けています。ホームページでは常に情報を発信し、学校見学はいつでも可能です。賢明のよさをご存じの卒業生の皆様も、近くの小学生・中学生にお声がけをお願いします。

リヴィエ・プロジェクト進捗状況

70周年に向けて2018年度から始めましたリヴィエ・プロジェクトの現在までの途中経過と今後の予定についてお知らせいたします。

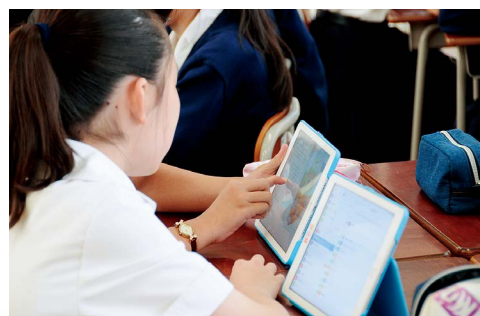
勉学面では、コース制を中学にも導入し、能力に応じた学びを実現するとともに、新しい時代の学びに対応させるべくタブレットを生徒に配布しました。教科書にとらわれずに生徒の知的好奇心を高めるために中学で導入したクロススタディも順調に行われています。

校舎の改修については、第1期工事として理科教室を2号棟の1階に集約して改修整備し、2号棟のトイレの改修も同時に行いました。次期工事として、1号棟中央トイレ、リヴィエ館、6号棟の改修などを予定しています。

さらに、70周年記念行事として2020年の夏にマリー・リヴィエゆかりの地を訪問する巡礼旅行を計画しています。



新しくなった理科教室



タブレットを使った授業（プログラミング）



クロススタディ（新聞を読む）

制服の紹介

賢明女子学院の制服 [2019年から新しく変わります!!]

現行の制服

中学校



夏服 合服 冬服

高等学校



夏服 合服 冬服

2019年入学生からの新制服

中学校



冬服 合服

高等学校



冬服 合服

Shining Stars

～卒業生の一人一人が輝いています～

賢明創立者の精神と共に歩む、1 回生！



毎年10月1日～7日 全国「法の日」街頭広報活動姫路駅周辺
平成30年10月1日 山陽百貨店前にて

昭和20年6月22日、姫路の街はB29の爆撃を受け焼け野原となり、煤けた姫路城がたった一つ、天を支えるように屹立していました。『あゝ、よかった。お城が残っている。』次女（賢明女子学院2期生）と三女（賢明女子学院6期生—59歳で夭逝）女の子ばかりの中で長女の私は気強く思いました。父は消防の電令として走っていて焼夷弾の直撃を受け、顔・足ヤケドで、日赤病院で手当をしてもらっていました。薬品も不足、ちょうど包帯を看護婦さんに取りかえてもらっていた時、白いものがポロポロと落ちて来ました。何だろうとよく見るとウジ蟲だったのです。戦争は悲惨です。食物も着るもの住み家、人間として生き長らえていくもの全てを奪い去って行きました。

祖母からもらったコッポ、コッポと鳴るコッポリ（履き物）も、おひな様も、何より大切にしていたランドセル、そして幼児の頃の写真全て焼失致しました。

4年生で戦災に合い、やがて新制中学3年、教室の後ろに張り出された「賢明女子学院創立」「生徒募集」—留学も出来る—私は飛び上がるほどうれしかった。「勉強が出来る」「先生になりたい私の夢が叶えられる。」石見元秀（現石見利勝市長の父）市長の『姫路市に立派な女子教育の施設をつくる——』この声に呼応して、カナダ奉獻会より、日本の地に骨を埋めようと30歳になられたテオデュールシスター様初め、たくさんのロザリオを腰に下げ日本の子女のために率先しておいで下さった——「ペティブーレット（小さい少女）」と私に言ってテオデュールシスター様から、excellentとほめていただき、英語が大好きになった私でした。

賢明ピークンライト（灯台の光）・社会のため、生きている全ての人々のために、小さくてもよい灯^{あかり}を^{あかり}かけ、賢明女子学院卒業生ががんばりましょう。

神戸地方裁判所管内
21市町110万人の代表として表敬訪問しています。
(全国民に「司法」の大切さを知らせるため、毎年順次行っています)



1 回生
黒津美智子さん
(旧姓: 吉野)

* profile

賢明女子学院高等部卒業後、昭和31年 神戸大学教育学部卒業、昭和31年～40年姫路市立妻鹿小学校教諭、昭和45年～検察審査員、姫路検察協会副会長、兵庫県検察連常任理事、昭和47年～姫路市少年補導委員、少年補導委員会副会長、少年補導委員会顧問、昭和63年～図書館事業後援会副会長、平成元年 全国検察連特別表彰、平成2年 こうのとり賞、平成5年 善行表彰 明治神宮、平成12年～18年 県立師範工業高等学校評議員、平成8年～姫路市老人クラブ連合会講師、平成16年～姫路検察協会会長、兵庫県検察連副会長、全日本善行会兵庫県役員、平成17年 皇居東宮御所にて御接見し「善行会長寿善行表彰」を受ける(10月19日)、平成18年～姫路市社会福祉協議会第三者委員、平成17年～現在に至る 姫路検察審査協会会長21市町(110万人)代表

「茶道と共に生きて」

原田穂枝さんは大津公民館で茶道講師をされています。私（17回生：土居真知子（旧姓：関））が公民館の補助員だった関係で、編集員として先輩原田穂枝さんの紹介をさせていただきます。

今から40年くらい前、お父様と網干のマリア幼稚園園長の大原久次先生との関係もあり、園児たちに教えられたのが学校茶道の先生になられたきっかけだそうです。「相手を侮ることなく他人を思いやる心」大人になってわかってもらえたらという思いで指導をされてこられました。網干市民センターには開所以来、その他多くの教育現場で茶道・華道の指導をされながら、陸上自衛隊の姫路駐屯地や青野ヶ原駐屯地でもお茶席を担当されています。

今年2月の大津公民館文化展では、先生の指導を



龍門寺住職、河野太通老師



大津中学校茶道部座禅体験

受けたウィーン国立音楽大学に留学中の20歳の女性がお点前をしました。彼女の立ち居振る舞いを見ながら、彼女なら日本の心を海外の人々にしっかり伝えてくれるだろうと心強く思いました。また昨年、加東市に住む洋画家、金月炤子氏が茶道の稽古にいられています。彼女は、日本とアメリカを往復する生活をされていて、ニューヨークの自宅で茶席を開くことを目標に稽古に励まれています。

7月には大津中学校茶道部の生徒が網干の龍門寺で座禅体験をしました。私たちの目鼻口耳は外を向いています。更に心までが外のことはかりが気になる昨今です。座禅と茶道、どちらも姿勢を正し、呼吸を整え、自分自身を見つめ直しかつ他人を思いやる心の修練という点で共通しています。

最後に、皆様には日本の伝統的総合芸術文化である茶道界をお楽しみいただければ幸いに存じます。

文責：17回生 土居真知子さん



7 回生
原田 穂枝さん
(旧姓: 宮腰)

* profile

(茶道講師として)

昭和57年～ マリア幼稚園、網干市民センター
大津中学校
昭和62年～ 勝原幼稚園
平成15年～ 網干高校、大津公民館
平成18年～ 旭陽幼稚園
平成22年～

その他、様々な所で茶道講師として現在も活躍されています。

「元気ですよ～」



21回生 西江 恵子さん (旧姓:堀井)

皆さん、こんにちは。ケメで一す！皆さん、お変わりありませんか？

先日、理事の方々から電話を頂き、懐かしい賢明時代を思い出しました。日々の生活に追われ、学生時代のことなどすっかり忘れていました。理事の方に「まだ仕事をしているの？」と、驚かれ、意外なことに私自身びっくりしました。そうなんだ！みなさんは奥様をしておられるのだと……と、内心、私はいつまでも働いていることに、少々情けない気持ちにもなりました。ですが、今この会社で働いている自分に自信と誇りを持っていることが大切なんですよね。

卒業してから、賢明の短大、専攻科を経て、姫路中央病院で6年間栄養士として働きました。その間に、管理栄養士の資格を取り、生涯栄養士として働こうと考えていました。

結婚して山崎に住むようになったことで、片道38kmの運転に疲れて腎臓を壊してしまいました。仕方なく病院を辞めて、地元の保健所、保健センターで町の健診のお手伝いと事後指導、乳幼児の健診、いずみ会の世話係、15年間行政関係の仕事などをさせてもらいました。

その後、43歳の時、自宅から車で2分の距離にある長田産業の研究室で働かせていただくことになりました。検査と開発の仕事を掛け持ちしながら、時には社長、営業の人に同行して全国の名だたる会社でプレゼンに向かい、いろんなステージに立つ機会を与えていただきました。(長田産業株式会社のホームページをご覧ください。)

定年を迎えてからは、グループ会社のサン工業に移動となり、若い人たちに混じって日々忙しく働いています。サン工業は、大手製粉会社の委託加工先として、小麦粉、胚芽、フスマを焙焼する会社です。使用する原料のLotの指示や菌検査、製品の合否判定までの検査をしています。段々と視力も落ち、ドライアイや飛蚊症と戦いながら、あと2年頑張れたらいいかなと思っています。長田産業からサン工業に籍中に、国内はもちろんのこと、中国、韓国、バリ、シンガポールに連れて行ってもらうという、ご褒美もいただきました。

龍野の母91歳、主人の母95歳と二人の母にそれなりに手をとられながらも、主人や息子たちに助けてもらいながら、孫の成長を楽しみに日々感謝で頑張っていきたいと思います。

皆さんどうかお元気で！いつかお会いできれば……♡

沖縄からアートと癒しを全国へ

昨年2018年6月に、6年ぶりに懐かしい姫路を訪れました。しかも私が現在ライフワークとして取り組んでいるセラピー「アクセス・バーズ」の講座を開催してほしいという嬉しい依頼のために。その際、一部の同級生が時間を割いて会いに来てくれ、施術を体験された方もいて、自分の中の過去と現在が繋がったような数日間でした。

沖縄でアート活動を始め「メンタルアーティスト」という肩書きを名乗るようになって数年、まだまだ勉強したいことは山積しており尽きることはありません。

「常識」や「べきねば」「経験から得た思いこみ」などが心を縛りつけ、生きづらさの原因となっているケースがよくあります。うつなど病的な状態に至らないまでも、現代では多かれ少なかれ何かしらの不自由さを抱えている方は多いのではないのでしょうか。

私はそのために、アーティストとして癒しの絵を描くこと、心のままに絵を描く機会を提供すること、家庭や職場などで誰にでも簡単にできるメンタルケア（アクセス・バーズ）を伝えること……などを行っています。この仕事を始めて約10年になりますが、今後はできれば医療や福祉や教育などの分野の

方々とも協力して、もっと多くの人の力になればと思っています。

あなたは決して悪いわけでも間違ってもいいとしたら？ もっと楽に生きられるとしたら？

まだまだ私は道半ば。でもそう思える毎日が楽しくありがたいです。



33回生
谷村 玲子さん
(旧姓:前田)
／メンタルアーティスト

*profile

2006年に沖縄県へ移住
2009年より「はるにれ」を立ち上げ、県内外でイベント出店や展示活動を行う。2012年には賢明祭に卒業生ブースとして出展。
緩和ケア病棟での展示やうつ病のリワーク施設でのアート講師などを経て、アートを通してのメンタルケアを意識し始め、自己認識を深めるための個人セッションや講座を提供。
2015年「アクセス・バーズ」資格を取得 現在は講師としても活躍中。

Shining Stars

～卒業生の一人一人が輝いています～

「ひと、くらし、みらいのために」

●看護師になりたい。看護師でありたい。

私は、入院中の大好きな祖父に会える場が病院だったという幼い頃の記憶からか、漠然と病院で働きたいと感じていました。賢明時代に進路を考えた時、ひとを支える仕事がしたいと看護大学に進むこととし、看護師資格取得後は病院に勤務しました。病院で患者さんに看護ケアをさせていただくと同時に多くの人の死を体感したことで、死を「生」の連続のものとして身近に感じ、自分の「生」も意識するようになりました。そして、目の前の患者さんのみならず、より多くの人の役に立てることがしたいと考え、大学院に進学した後、看護の視点を活かせる看護技官の仕事に就きました。

●厚生労働省における看護行政の仕事をととして

行政のうち、看護行政とは、日本の看護サービス提供の仕組みを変革し、看護職員の資質を発展させることを通じて国民に質の高い看護サービスを届け、国民のQOL向上に貢献することを目指したものです。

厚生労働省は、保険・医療・福祉・介護の制度を所管していますが、看護技官は、時代の要請に応じて看護サービスに関する諸制度



の見直しをするのが主な仕事です。私は、チーム医療の推進にかかる看護業務の検討、介護報酬改定等に携わってきました。具体的には、制度の改善や創設に向けた検討会の運営やとりまとめが中心で、その他、講演等を通じた国の取組みの推進や国会対応等…地味ですが、いずれも日本中のひとのくらしに関係するという責任とやりがいのある仕事です。

これまで素敵な仕事仲間にも恵まれましたが、偶然にも文部科学省に在籍していた賢明の先輩と一緒する機会があり、不思議な縁を実感するとともに、慌ただしい日々の中で全国の同窓生のご活躍に励まされる気持ちになりました。私も、微力ではありますが、国民にとって、身近な友人や家族にとって、良いくらしや未来に繋がる制度に資する仕事ができるよう努め、そうすることで同窓生の皆様にもお返しできれば幸いです。



46回生
長谷川洋子さん

*profile

1980年 千葉県生まれ
2003年 日本赤十字看護大学 卒業
2003年 大阪市立大学医学部附属病院 入職
2008年 大阪大学大学院修士課程 入学
2010年 厚生労働省 入省

厚生労働省入省後、医療、介護を所管する部局の業務に従事するとともに、東日本大震災時の被災地対応や自治体への出向等も経験し、現在に至る。(現・医薬品医療機器総合機構に調査専門員として出向中)

ウーマン・オブ・ザ・イヤー2018



現ポーラ・オルビスホールディングス執行役員 32回生 末延 則子さん

32回生 末延則子さん(現ポーラ・オルビスホールディングス執行役員)が、2017年12月1日、ウーマン・オブ・ザ・イヤー2018大賞を受賞いたしました。ウーマン・オブ・ザ・イヤーとは、キャリアアップ、女性としての生き方などをテーマに、働く女性たち向けのビジネス誌である「日経WOMAN」が主催し、(1)働く女性のロールモデルを掲示(2)組織の中に埋もれがちな個人の業績に光を当てる(3)活躍した女性たちを通して時代の変化の予先をとらえるという主旨のもと、1999年から毎年12月、その年活躍した働く女性に授与されている賞です。

今回の授賞理由となりましたポーラ リンクルショットメディカル セラム開発は、15年の歳月をかけて開発した有効成分ニールワンを配合し、初めてシワを改善する医薬部外品として承認を得たものです。審査委員からは、常識に縛られずに行動し、新しい価値を創造したことであり、自分の中に「やりたいことの種」を見つけたら、迷わず走り出す勇気があること、その上で、チームや賛同者など、周囲を巻き込みながら、社会全体を幸せにするミッションを掲げ達成したことであると評価頂いたそうです。

本製品は、2017年1月の発売以来、56万人を超えるお客様にご愛顧頂き、2017年日経優秀製品・サービス賞にて「最優秀賞日本経済新聞賞」を受賞するなど、化粧品のかたちに留まらず、社会的にも大きく注目されています。



2017年12月1日
ウーマン・オブ・ザ・イヤー授賞式にて受賞者と審査員の皆様と。
Nikkei woman onlineより引用 前列左から5番目が本人です。

同窓会の設立から現在の形に至るまでの経緯、運営にあたって心掛けてこられたこと、一番印象に残っておられることなどを同窓会の土台作りにご尽力された方々にお伺いしました。

58号では同窓会の設立から現在の形に整っていくまでを、59号では役員をされて印象に残っておられることを掲載する予定です。



前列左より	2回生 中谷節子(増田)	3回生 吉江朋子(本田)	
後列左より	14回生 三宅典子(釜谷)	10回生 西戸千草(石見)	7回生 神谷邦子

*賢明の同窓会の初期の様子をお聞かせ下さい。

2期生の永峰初穂(桑田)さんが、大学卒業後姫路に帰り同窓会を、また当時の奉献会会長と共にバザーを立ち上げたと言っています。

設立時(昭和33年)は1期生から1年交代で会長をしていました。役員会も学院が使用できず、学院外の施設を利用するような状態でした。

昭和50年に2期生の中谷節子(増田)会長の下、副会長に3期生吉江朋子(本田)、5期生佐川玖仁子(高島)、7期生神谷邦子、会計を1期生藤本裕子(佐藤)さんをお願いし、卒業生各期2名の理事を選出、同窓会理事会が発足致しました。

思考錯誤の中、Sr.フェクト(Sr.テオドール)にご相談致しましたところ、シスターより「やるなら思いっきりやってください。応援しますよ。」との力強いお言葉と数々のご支援をいただきました。お陰様で同窓会の組織・基盤を作ることができました。

役員会が学院内でできるようになり、大きな喜びを覚えたものでした。

*バザーはどのようにされていきましたか？

当初は、1階の調理室をお借りして奉献会の皆さんと同窓会役員総出でクッキーを焼き、販売しました。材料揃えに始まって、粉ふりなどの下準備には2期生で事務局におられた橋本恭子(藤原)さんの労を惜しまぬ奉仕にどれほど助けられて心強かったことか！

何年か後にはスポンジケーキも焼き、販売しました。よく売れて賢明バザーの名物となりました。調理室からの良い匂いに誘われて、生徒たちが外から窓を覗いていた光景も微笑ましく思い出されます。

また生地を仕入れ、2階の被服室をお借りしてエプロンを作り販売したこと等も思い出されます。

一時学院祭でのバザーが出来なくなった時、Sr.フランシスの「同窓会はバザーを続けるべきですよ」との心強いアドバイスを頂き、迷っていた心が明るくなったことは今も忘れられないことのひとつです。バザーは教会に隣接するザビエル館をお借りして続けることができました。

お米を集めオムスビも作りました。卒業生たちが学年を越

えて活き活きとバザーを楽しんでいる様子を見て、生徒たちから「私たちが参加させて欲しい」との要望があり、それを学校側にお伝えして了解していただき、元の学院祭バザー、賢明ファミリーのバザーが戻ってきたことはとても嬉しいことでした。

*同窓会の運営はどのようにされていきましたか？

当初の同窓会活動資金は、バザーの収益金と同窓会総会等の会費で賄っていたのですが、到底賄いきれるものではありませんでした。同窓会から卒業生へのお祝いのコサージュも資金節約と親睦を兼ねて手作りしておりました。

そこで役員会で卒業生全員に終身会費の納付をお願いすることを決定し、お願いの葉書をお出しました。

しかし思うように入金されず頭を悩ませていた時に、岸野教頭先生より「同窓会の終身会費は、入学時から積立をし、卒業時に同窓会へ入金するようにしましょう」との奉献会からのご提案を伝えていただきました。思いがけないお話に、涙が出るほど嬉しかったことを思い出します。

お陰様でやっと活動資金の会計が安定し、組織基盤の強化となり、活動がまた一歩前進しました。Sr.フェクトと賢明ファミリーに感謝、感謝でした。

卒業生からの終身会費とバザーの収益金で同窓会運営のメドも立ちやすくなりました。

短大建設時の学校からの寄付依頼にも高校同窓会として多少なりとも寄与できたことに感謝の気持ちで一杯でした。

同窓会の運営には、賢明のモットーである「The Best」とシスターに教えていただいた奉仕の精神であたり、一致団結みんなで力を合わせた輪と、お互いに感謝の気持ちで接する和の心を持って前進することができたことに大きな喜びを頂きました。

また家族の理解と協力、本部役員のチームワーク、同期の方々はじめ全ての同窓生の皆様のご協力、先生方のご理解、そして何よりもシスターの大きな愛のお陰があったからこそ、様々な活動が出来たのだと思います。

今思えば、何所の地に行っても賢明ファミリーの匂いを何となく感じる事が多々あったように思います。同窓会にご協力頂いた全ての方々に感謝の気持ちで一杯です。

皆様、本当にありがとうございました。



同窓会だより

同窓会の報告原稿を募集しております。毎年12月末締切りとさせていただきます。お写真、記事をメールかお手紙にてご連絡ください。

メールアドレス rivier.kenmei@gmail.com

14回生 古希同窓会 2018年11月3日



先生2名、14回生38名 於：加古川プラザホテルにて

24回生 還暦同窓会 2018年4月28日



平成30年4月28日 同窓会館にて24回生の還暦同窓会をゆーく開きました。伊賀崎先生ご夫妻やSr.江田、林田先生にもご参加いただきました。

遠方の方も含め32人が集まり、楽しくも懐かしい時間を過ごすことが出来ました。益々元気に年を重ねていきますよう、次の同窓会を楽しみにしています。同窓会役員 大橋、三木、永井、池内

13回生 同窓会 2018年7月27日



国際結婚—グローバルな今の時代には、もはや死語でしょうか—をして今も海外で暮らす方が、私たち13期には6人いらっしゃいます。その中の一人Flippo幸子さんの帰省に合わせて、急遽ミニクラス会を開催しました。お孫さん二人を伴って聞き、着物とお抹茶で歓迎しました。「とても記念になる同窓会でした。本当にみんなによくてもらって心から感謝してます。52年もたってもこんなに仲良く楽しい1日が一緒に過ごせると言うのは、賢明からの卒業生だと言うことなのよね。後略」(フェイスブックより)

35回生 同窓会 2018年8月14日



8月14日、35回生同窓会を開催しました。会場の姫路モンテには全国各地、海外から懐かしい級友が集い、その後、同窓会室に移動し、懇親会。

伊賀崎建志先生、田崎先生、林田先生、西川先生がご参加下さいました。

卒業から30年が経ちましたが、再会した瞬間同級生に戻り賑やかな楽しい時間を過ごしました。

改めて賢明ファミリーとして繋がついている、を実感した幸せな1日となりました。

関東地区同窓会より 2018年9月30日



於：帝国ホテル東京にて

東京修道院からSr.鷺尾、Sr.中川、関東から太田眞佐恵先生、竹本隆幸先生、そして97名の卒業生の皆様（5回生～65回生）がご参加下さいました。

台風24号の影響で、天候も交通機関も大荒れの日となりましたが、たくさんの賢明ファミリーの方々にお集まり頂きました。

こうして無事にご報告できておりますのも、皆様のお力添えあつてのことと、幹事一同心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

スライドショーやインタビュー、校歌やお祈りの時間など、当日の様子はHP <https://kenmeikanto.weebly.com/>にてご覧いただけます。

64回生 同窓会 2019年1月14日



於：ホテル日航姫路にて



学院祭

2018年
9月15日(土)

バザー報告 Bazaar



ご冥福をお祈り申し上げます

わたしは彼らに永遠の命を与える。
彼らは決して滅びず、
だれも彼らをわたしの手から奪うことは
できない。
ヨハネによる福音書十章二十八節



旧職員 ヴァン・デ・ワール神父	2018年2月2日	10回生 村主 敬子	(橘) 2018年10月13日
旧職員 Sr.横山 陽子	2018年2月11日	10回生 奥平 美明	(中木村) 2011年
旧職員 尾上 高知	2015年ごろか？	11回生 杉岡 紀子	(山本) 2016年7月
旧職員 黒田 やす子	かなり前	13回生 明石 峯代	(河口) 2018年2月18日
旧職員 松本 武三神父	2017年10月24日	13回生 児島 和子	(高島) 2018年6月25日
旧職員 古川 弘文	2018年7月10日	14回生 佐藤 みどり	(佐藤) 2017年10月21日
旧職員 上月 恵	2018年2月19日	14回生 市田 みどり	(星野) 2017年11月22日
旧職員 鈴木 義一	2018年11月7日	15回生 市村 京子	2017年11月24日
1回生 永井 寿音	(林田) 2018年3月	16回生 河本 育子	(横山) 2018年6月19日
5回生 清水 恵子	(飯田) 2018年8月21日	19回生 向井 弓子	(西川) 2017年2月9日
6回生 坂口 ひろみ	(辰田) 2010年4月26日	23回生 木村 佳代子	(木村) 2014年
6回生 藤井 禾子	(的塾) 2018年8月31日	26回生 安原 仁美	(山本) 2015年10月
8回生 榊 文代	(松岡) 2012年ごろ	38回生 松岡 輝美	2018年6月4日
9回生 山田 公子	(高橋) 2018年3月1日	47回生 後藤 志保	2016年7月13日
10回生 井上 和子	(酒沢) 2018年5月23日		

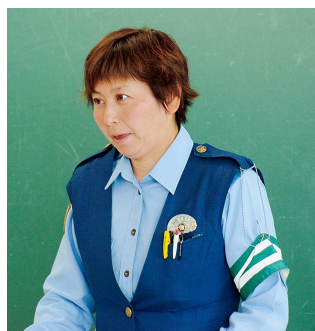
卒業生による、在校生のための 「キャリア教育講座」

今年度のキャリア教育講座は、下記の7名の卒業生の皆さん（内1名が今回初めての方）が講師を務めてくださいました。M3生（69回生）119名と3年コース生（高校入学生）6名を主たる対象に、後輩たちに熱き思いを語っていただきました。先輩方の生の声に在校生は熱心に耳を傾け、仕事や生き方について知るよい機会になりました。

2018年度 キャリア教育講座の講師 〈7月24日実施〉

氏名	回生	職業	居住地	講義のタイトル
野村 直美	37	グラフィックデザイナー	姫路市	「デザイン」を仕事にするということ
森 夏子	37	D.J.アナウンサー	芦屋市	言葉を伝える仕事について
中川 公恵	39	大学准教授(薬学)	神戸市	あなたは大学で何を学びたい？ 薬学部はどんなところ？
小川 純	40	警察官	姫路市	究極のサービス業～安心・安全なまちづくりのために～
住岡まどか	43	看護師・助産師・保健師	芦屋市	助産師の仕事あれこれ
三枝 由季	48	弁護士	姫路市	99.9の世界
増原 奈緒	50	小学校教諭	姫路市	“先生”のヒミツ

人とともに生きる仕事



キャリア教育講座に参加し、警察官という仕事を受講生のみなさんに紹介できる機会を与えていただき、ありがとうございます。警察官を拝命して23年が経ち、さまざまな業務に携わり、私自身、天職だと感じながら、日々の任務に従事しているところです。

さて、みなさんは、警察官と聞いて、どんな印象を持ちますか？ 寂しいことに、できれば関わりたくない、と思っている人が多いと思います。

普通に生活をしていて、警察に関わることといえば、運転免許を取得していればこそ、定期的に更新手続きにすることがあっても、それもなければ、生涯関わることもなく過ごす人もいます。ある意味、あまり好かれていない職業である気がしています。極端な話、悪いことをしなければ、関わることもないと思われる警察官ですが、実は、穏やかな生活の根底には、我々警察官のさまざまな業務が関わっています。

私が警察官を志したのは、保育園の頃。当時、警察官だった父に、ただただ憧れて、ヒーローになリたかっただけかもしれない。しかし、家族に警察官がいただけで、警察業務に関わることもなく、深く知ることもなく、警察官を拝命した私は、カッコいいヒーローとはほど遠い現実に驚きました。

拝命当時、兵庫県は、阪神・淡路大震災により、大きな被害を受けており、県内外の警察官が昼夜を問わず、救助・

40回生 小川 純〔警察官〕

救出活動や仮設住宅における警戒活動、被災者のメンタルケアまで、幅広い任務に従事していました。自身も被災している警察官も、家族を置いて、県民のために任務を全うしている姿がそこにありました。

警察官である限り、どんな状況になっても、人とともに生きること。人のために動けることが誇りであり、使命であることを学びました。

賢明に在学中、授業や学校生活を通して、人を愛することや、The Bestの精神を学んだことが、警察官として任務を遂行するための心構えとなり、今の私の業務を支えています。

社会はいろんな仕事で成り立っています。将来、どんな仕事に就きたいかを考えるとき、社会のどの部分を担いたいか、も考えてほしいです。どこが欠けても、当たり前のように安心で安全な生活は送れません。

人とともに生きる。社会を担う一員として、天職と思える仕事に出会うきっかけになれば、と願っています。



同窓会会則



賢明女子学院高等学校同窓会

会 則

第 1 条 (名称)

本会は賢明女子学院高等学校同窓会「リヴィエ会」と称する。

第 2 条 (目的)

本会は会員相互の親睦を図り、母校の発展を助長することを目的とする。

第 3 条 (会員)

本会は次の会員を以て構成する。

1. 正会員：賢明女子学院高等学校を卒業した者。又は在学した者で役員会に於いて推薦を受けた者。
2. 特別会員：母校現職員並びに旧職員。

第 4 条 (所在)

本会は本部を姫路市本町 68 賢明女子学院内に置く。但し、必要に応じて地方に設けることができる。

第 5 条 (役員・役員会)

1. 構成：会長 1 名、副会長 3 名以内、書記 2 名、会計 2 名、常任理事 (10 期毎に 1 名)、顧問 (賢明女子学院校長・前同窓会会長) 2 名で構成する。

第 6 条 (任期・任務)

1. 任期の年度は 4 月から始まり翌年 3 月で終了する。
2. 役員の任期は 2 年とし、再任は妨げない。
但し、理事会の承認を得ること。
3. 任務：
 3. 1. 会 長：本会を代表し、会務を総理する。総会、理事会、役員会の招集を行う。
 3. 2. 副会長：会長を補佐し、会長に支障ある時は之に代わる。
 3. 3. 書 記：役員会、理事会、総会及び臨時の会合記録をとり、ファイルする。会員の閲覧要請に対応する。
 3. 4. 会 計：同窓会費の全ての経理事務を担当する。
 3. 5. 常任理事：本部役員の補佐をする。
 3. 6. 会計監査：会計年度末及び役員会の要請に応じて会計帳簿の監査を行う。会計監査終了後、報告書と監査済報告書を役員会に提出し、理事会において承認を得る。
 3. 7. 顧 問：重要事項につき諮問に応じる。

第 7 条 (理事・理事会)

1. 理事は各期より 2 名、新人会の期は、8 名を選出し、各期の代表として議決権を有する。
2. 理事会は会員の代議機関として各期の意見を反映し、決議に関しては出席理事の過半数の賛成を要する。
3. 理事会の成立は過半数の出席 (委任状を含む) を必要とする。

第 8 条 (特別委員会の設置)

役員会で必要であると認めた場合に適切な委員会を設置する。

第 9 条 (会計年度と財務)

1. 会計年度は 4 月 1 日から翌年 3 月末日までとする。
2. 財務に関しては入会金、終身会費 (在学中に積立) と寄付金を以て之に充てる。

第 10 条 (同窓会の活動)

1. 同窓会の活動は原則として営利を目的としない。
2. 年 1 回は会員相互の交流及び親睦を目的の集い (バザー等) を行う。
3. 年 1 回、同窓会報「あらむね」を発行する。

第 11 条 (会則の修正及び改正)

1. 会則の修正及び改正の必要が生じた場合、特別委員会として会則改正委員会を設置し、この任に当たる。
2. 理事会出席者の過半数の賛成を持って、修正及び改正は成立する。

附 則

本会の資産保護の為、金融機関一行当たりの預金額は、預金保護法に基づいた金額を超えない範囲とする。

本会則は

1963 年 名簿発行時に施行
1991 年 一部修正
1999 年 一部修正
2004 年 一部修正
2011 年 5 月 15 日 改正・発効

賢明女子学院 同窓会室 利用手引

利用時の 注意事項

- 利用目的として、同窓生の親睦を主とするため、利用対象は卒業生・在校生のみとなります。
- 利用日および時間帯は学院に準ずるものとなり、原則、月曜日～土曜日、9 時～16 時。
休校日の利用については、相談に応じます。
- 基本的に使用料は無料。
有料の講習会等の場合は、1 回 (4 時間まで) 500 円。1 日中利用の場合、1,000 円。

※利用申請書は裏表紙記載の賢明同窓会のホームページよりダウンロードできます。
また、学校の受付にも置いてあります。

利用申請者

利用日までに

- ① 別紙申請書に記入後、FAX・郵送、または学院へ直接持参。

電話:079-223-8459/FAX:079-223-8478

受信確認は申請者の任意でお願いします。

- ③ 使用不可の場合、学院より連絡あり。

学 院 側

事務室受付へ

受取後

- ② 学院にて使用可否確認。
※使用可能な場合、連絡はありません。

利用当日の注意事項

- 学院内のお車の駐車はご遠慮いただき、近隣有料駐車場をご利用ください。
- 同窓会室内の備品はいずれも使用可能です。ただし、備品を破損された場合は、弁償していただくこともありますので、ご了承ください。
- 利用後は、備品などを元の位置に戻し、清掃の上、ごみの持ち帰りをお願いします。

同窓会室をご利用ください。

2018年度 活動報告

第71回中学入学式

- 2018年4月9日(月)
会長、副会長が出席

2018年度理事会

- 2018年5月20日(日)
10時～12時
- 顔合わせ、行事予定の確認
- バザーの役割分担
- あらむね委員の選出

学院祭バザー

- 2018年9月15日(土)
9時～15時
全理事でバザーの開催と
喫茶を運営
(前日、バザー準備13時～
16時 バザー品の値付け
作業、喫茶会場準備)
バザーの収益金の中から
下記の寄付
- 学院へ10万円
- あしなが東日本大地震
津波遺児募金へ10万円

追悼行事

- 2018年11月2日(金)
12時20分～
会長、副会長ならびに逝去
された回生の理事が出席

第67回創立記念ミサ

- 2018年11月20日(火)
11時40分～
会長、副会長が参列

クリスマス行事

- 2018年12月22日(土)
クリスマスブローを会長、
副会長、本部役員で観賞

あらむね封入

- 2019年3月1日(金)
2日(土)
10時～16時の間で都合
の良い時間に各理事で封
入作業

卒業式予行演習

- 2019年2月28日(木)
会長から卒業生へ祝辞と
同窓会入会を説明

卒業式

- 2019年3月1日(金)
会長、副会長が出席
同窓会からの記念品(コ
サージュと卒業証書ファ
イル)を65回生理事に
各教室へ運ぶお手伝いを
して頂く

各種会議

同窓会事務室にて
本部役員会議を月1回～2回
あらむね編集会議(5回程度)

2019年度 活動予定

2019年

理事会

5月19日(日)
10時～12時

バザー準備日

9月13日(金)

学院祭バザー

9月14日(土)
9時30分～(バザー&喫茶)

追悼行事

10月30日(水)

クリスマス行事

12月21日(土)

2020年

あらむね封入

2月28日(金)

2月29日(土)

卒業式

2月29日(土)

2017年度会計報告 (2017年4月1日～2018年3月31日)

収入の部

(単位:円)

項 目	備 考	金 額
65回生会費	@20,000×116名	2,320,000
バザー売り上げ		766,490
雑収入		799
利息		1,313
合計		3,088,602

支出の部

(単位:円)

項 目	備 考	金 額
あらむね発行		1,461,010
卒業式	コサージュ	49,530
	証書ファイル	71,920
バザー経費		237,908
学院祭経費		43,241
寄付(学院)		100,000
寄付(あしなが育英会)		100,000
関東地区同窓会		8,375
会議費		35,335
事務費		15,771
次年度繰越金		965,512
合計		3,088,602

2018年3月31日現在総資産額 36,092,679

あらむね編集委員募集!

「あらむね」の編集委員を募集しております。各企画
など皆さんのアイデアを記事にしてみませんか? 詳し
くはリヴィエ会まで。

あらむね原稿募集!

同窓会やりました! 同窓会開催します! 卒業生の活
躍、こんな仕事しています。賢明あるある、クラブ活
動の思い出などなど「あらむね」に掲載いただける原
稿を募集しております。どしどしお寄せください。

メールアドレス rivier.kenmei@gmail.com

あらむね編集委員

委員	1 回生	黒津美智子(吉野)・清元 瑩子(尾内)
	17回生	竹川 真弓(大髭)・土居真知子(関)
	21回生	岡口 慶子(広岡)・山田 智子(福本)
	33回生	小川 美典(瀬崎)・戸倉規容子(黒田)
	46回生	坂本絵里奈(村尾)・高橋 理恵(中島)
	59回生	玉石 真理・石本稚香子
オブザーバー	24回生	池内 恵美(山田)

各理事へ連絡をとりたい場合は

個人情報の保護の為、各理事の連絡先は掲載しておりません。各理事への連絡を取りたい場合は、会長、副会長まで、もしくは同窓会 Gmailにてお問い合わせください。

同窓会ホームページへの掲載を希望される方は

ホームページ掲載のご依頼は、以下の手順でお願いします。

- ① 賢明女子学院同窓会ホームページにアクセスする。
- ② ホームページ掲載依頼についてのガイドラインをご一読いただき、ご理解の上、掲載依頼書をダウンロードする。
- ③ 必要事項をご記入の上、Gmailで同窓会宛にお送りください。
(FAXでも学院宛に送信可能です。)

秋の褒章

おめでとうございます

藍綬褒章

14回生

大江 雅子(旧姓:水谷) 社支部調停委員

瑞宝単光章

14回生

渡辺 弘子(旧姓:赤穂) 姫路支部調停委員

学院追悼行事

11月の学院追悼行事でお名前をあげさせていただくのは、その年の9月末までの1年間に訃報の連絡があった方々です。

(あらむね掲載は12月末までに連絡があった方)

●なるべく早いご連絡を

●ご連絡の際は

＊卒業回(期)生

＊お名前(旧姓)

＊逝去日

を必ずお知らせください。

できればメールかFAXでお願いします。

学院祭バザーのご案内

今年も9月に学院祭が開催されます。

同窓会では例年通りバザーと喫茶を各回生の理事全員で行います。

当日は、同窓会室にくつろぎスペースを設けております。お子様連れの方もご利用ください。

日時 2019年9月14日(土)

バザー 時間 9時30分～

場所 同窓会室(食堂東隣)

※品物がなくなり次第終了

喫茶 時間 9時30分～13時30分

場所 賢明女子学院

2019
年度

バザーの出品物(日用品・手芸品など)にご協力下さい。出品物には、必ず希望の売値をつけておいて下さい。

また、管理の都合上**9月2日(月)**以降に本学院までご郵送・ご持参ください。
(平日の17時まで受付)

2019年度 理事会のご案内

日時 2019年5月19日(日) 10時より

場所 同窓会室

※理事が出席できない場合は必ず代理の方をお願いします。

編集
後記

今年の「あらむね」の各ページの下には、編集委員からの一言が載っています。是非ご覧下さい。
編集にあたり、旧友たちや懐かしい先生方に出会え、又同窓生の方と世代を越えて交流できて、賢明の良さを改めて感じました。
協力して下さった全ての皆様に感謝申し上げます。

賢明女子学院

検索

<http://www.himejikenmei.ac.jp>

同窓会ホームページは、学院ホームページ下部にあります「同窓会」よりご覧下さい。

住所異動はご連絡下さい。 TEL.079-223-8456 FAX.079-223-8458

E-mail rivier.kenmei@gmail.com

※卒業回(期)生・お名前(旧姓)・できるだけ宛名にあるお問合せ番号をお知らせ下さい。
※できるだけメールかFAXにてご連絡下さい。